



四中たより

第8号 R3.10.22(金)

発行責任者 岡中 学

進もう おおらかに
学ぼう うるわしく
励もう たくましく

TEL 31-0911

庄内の魅力や生き方について考える

夏にかけての新型コロナの第5波により延期をしていた1・2年生の「輝きタイム」、3年生の修学旅行の代替行事を、今月1日(金)・4日(月)・5日(火)の3日間の日程で実施しました。

1年生は、1日(金)にクラスごとの地域探訪学習。市の学習バス5台で、本間美術館や海向寺、イヌワシ未来館、出羽遊心館、山居倉庫、加茂水族館などに出向き、地域の魅力を再発見してきました。また、5日(火)には、進路学習(高校説明会)で、酒田東高校、酒田西高校、酒田光陵高校、羽黒高校、酒田南高校の先生から高校生活のこと、中学校で頑張っておくべきことなどについて学びました。

2年生は、4日(月)の午前中に職業講話を行い日本海総合病院の看護師 齋藤咲さん(四中の卒業生)から「看護師の仕事の魅力」と題してお話を伺いました。また、午後からはクラス別の企業訪問で、市の学習バスに乗り込み、酒田警察署や致道博物館、リサイクルセンター、ミライニ、スイデンテラス、松ヶ丘開墾記念館、オランダせんべいなどに出向いて、働くことの意義や持続可能な社会づくりなどについて学びました。

3年生は、修学旅行の代替として、観光バスを貸し切り4日(月)・5日(火)の日帰り2日間で庄内探訪に出かけました。初日の午前中は、学年全員が羽黒山の参拝、合格祈願のご祈祷をしていただきました。午後と2日目はクラス別に、釣り堀やボルダリング、カート、屋形船、牛渡川、ぶどう狩りなどクラスのオリジナルティあふれるコースを満喫しました。加えて3年生は、9月28日(火)に、たき未来企画代表の荒生多喜さんから「新しく始まっていく社会に向けて～進路実現に向けて、未来への希望を～」と題して進路講話をいただき、挑戦することの大切さなどを学びました。



1年：1俵の重さって



2年：働くことの意義って



3年：仲間とともに
最高の思い出

地域の一員として、社会貢献

9月24日(金)、10月7日(木)に「四中スタンダード高め隊」の地域貢献活動として、コマツ写真印刷とエネオスの交差点に立って、地域に交通安全を呼びかける「交通安全マナーアップ運動」を行いました。10



月1日(金)もPTA生活指導部の皆さん

と一緒に活動を予定していましたが、荒天につきこの日の活動は残念ながら中止としました。当日は、4グループに分かれて交差点に並び、プラカードやのぼりを持って、行きかう方々に交通安全を呼びかけました。ドライバーの皆さんがにっこり微笑んだり、お辞儀を返したり、手を振り返したりしてくれました。



この地域に生きる一人として、「どんなことが自分にはできるだろうか」と考えながら生活していける大人に成長してほしいと思います。

ともに学校をつくる

今月6日(水)は2年生、7日(木)は1年生、13日(水)は3年生に対して、「宮野浦読み聞かせ隊」の皆さんからクラスごとに本の読み聞かせをしていただきました。

教卓の周りに半円を描くように集まって、今この年代・時期だからこそ聞いて欲しい本だったり、生徒が興味を持ってくれそうな本だったり、よく見えるように大きな本だったり、読み聞かせ隊の皆さんが生徒のことを思いながら選んでくださった本を読み聞かせしてくださいました。小学校から関わってくれている地域の方は、「身長が伸びていたね」「大人っぽくなっていたね」と生徒の成長を喜びながら、「みんな一生懸命に聞いてくれて嬉しかった」という感想をいただきました。これからも、様々な場面で、地域の皆さんからお力添えをいただきながら、自立、協働、貢献できる子ども達に育ててまいります。



合唱は一人じゃつukれない

今月30日(土)に、「四中フェスタ文化の祭典」が行われます。9月22日(水)のフェスタ集会を皮切りに、クラスの役員を決めながら、今月12日(火)に合唱練習がスタートしました。

合唱の良さは一人では創れないことだと思います。どんなに歌の上手な人でも一度に4色の声は出せません。呼吸を合わせ、隣の人や各パートの音の響きを感じながら、全員の思いをのせて音を重ね合わせるからこそ美しい合唱になるのだと思います。でもこれがなかなか難しいのも事実です。各クラス、リーダーを中心にして「どうしたらもっと良くなるか」を考えながら悪戦苦闘しながら練習に取り組んでいます。この過程を通して、きっとクラスとして大きく成長するはずですよ。

そして、20日(水)には1年生、21日(木)には2年生、22日(金)には3年生の中間発表会を学年生徒会が進行しながら行いました。どのクラスも、まだ練習途中で課題はたくさんあるのかもしれませんが、ここまでの練習の成果をお互いに精一杯発表し、他のクラスの良さに触れながら、残りの1週間で取り組むべき自分のクラスの課題点がより明確になったのではないのでしょうか。あと1週間あります、この1週間の取り組み次第で中間発表の時の合唱とはガラッと変わります。また、3年生の中間発表には、宮野浦小学校の6年生が聞きに来てくれました。中学校の先輩の真剣な取り組みや響く歌声に触れて「自分もこんな中学生になりたい」「中学校に行くのが楽しみ」と思ってくれたことと思います。加えて、保護者の皆様にもご案内をいたしました。たくさんの皆様から参観いただきました。ありがとうございました。

なお、30日の本番の合唱は、下級生が先輩の生の合唱を聞いて、「四中の合唱文化」の良さを継承していけるようにするために、全校生徒を体育館に入れることを最優先にさせていただきました。保護者の皆様には、タブレットなどを使いながら、録画した映像をご覧くださいこととなりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。是非、お子様の頑張った姿をご家庭で一緒にご覧いただければと思います。

